

令和7年度 of 取組報告及び 令和8年度 of 取組紹介

はじめよう、
**けんこう
time**

健康づくり県民運動 スローガン

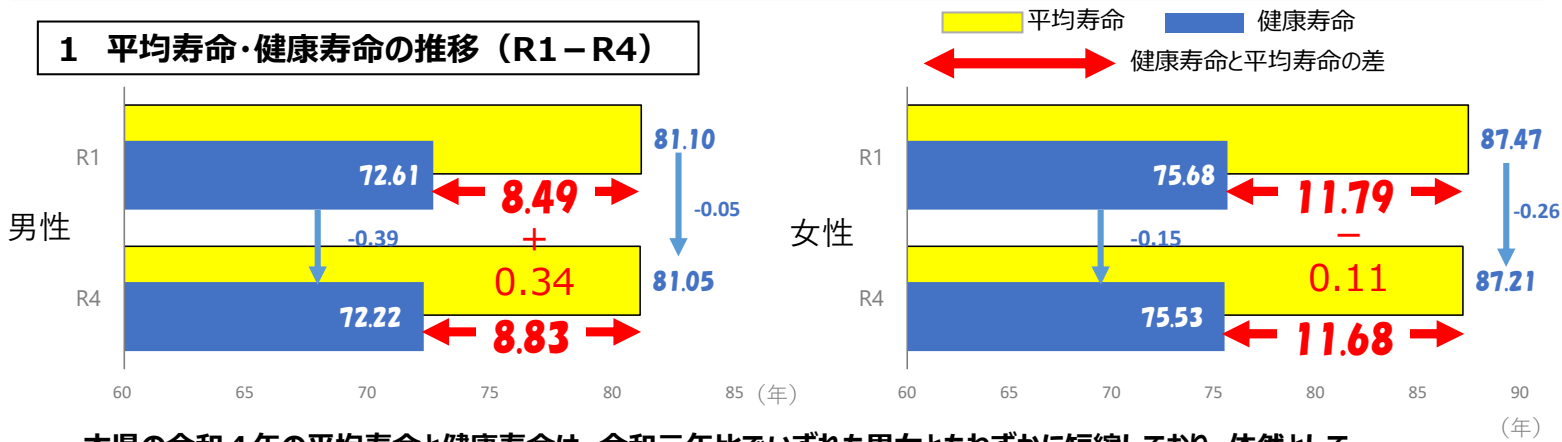


福祉保健部健康づくり支援課
令和8年7月30日（木）

新潟県の健康に関する現状と課題

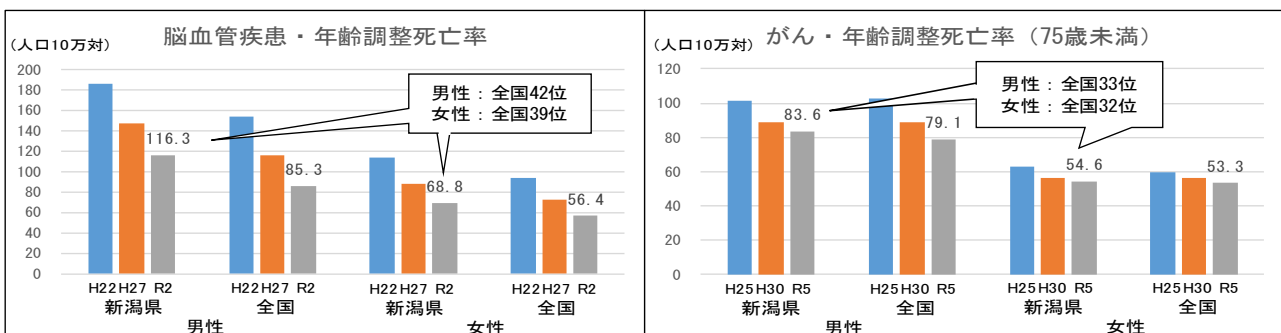


1 平均寿命・健康寿命の推移（R1－R4）



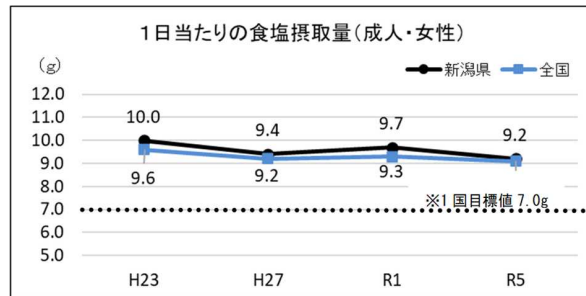
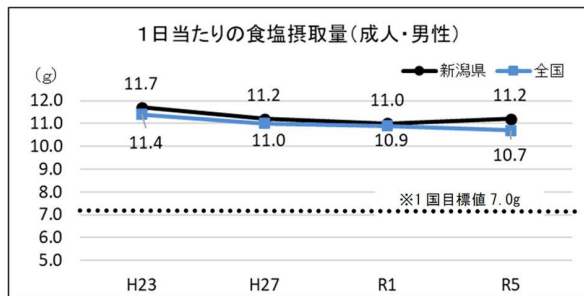
本県の令和4年の平均寿命と健康寿命は、令和元年比でいずれも男女ともわずかに短縮しており、依然として、その間には差があることから、健康寿命を延伸し、平均寿命と健康寿命の差を縮小していく必要がある

2 疾病に係る状況 ※全国と比べて死亡率が高いもの

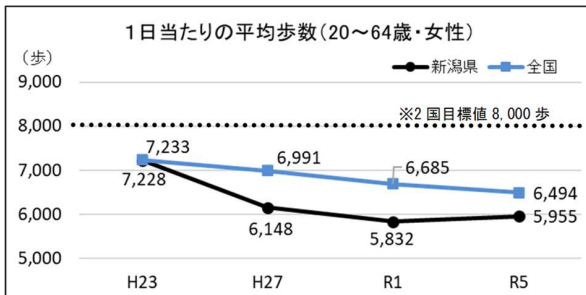
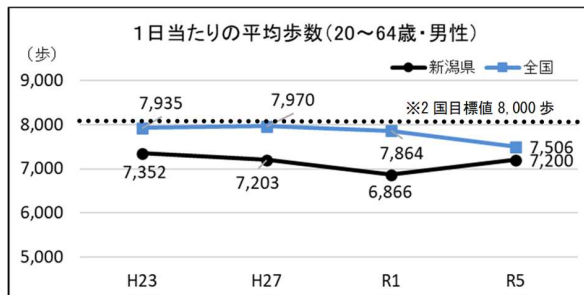


人口10万人当たりの脳血管疾患やがんの年齢調整死亡率は、年々低下傾向であるものの、全国下位である

3 生活習慣に係る健康指標 ※国の目標値を達成できていないもの



※1 1日当たりの食塩摂取量の目標値 男性 7.0g、女性 7.0g (健康日本21 (三次) で定められた目標値)



※2 1日当たりの平均歩数の目標値 男性 8,000歩、女性 8,000歩 (健康日本21 (三次) で定められた目標値)

脳血管疾患やがんのリスクを高める要因の一つとされている食塩摂取量は、国の目標値を上回っている
また、1日当たりの平均歩数も国の目標値を大きく下回っているなど、生活習慣病の発症・重症化予防や
加齢・疾病による生活機能低下の予防が課題

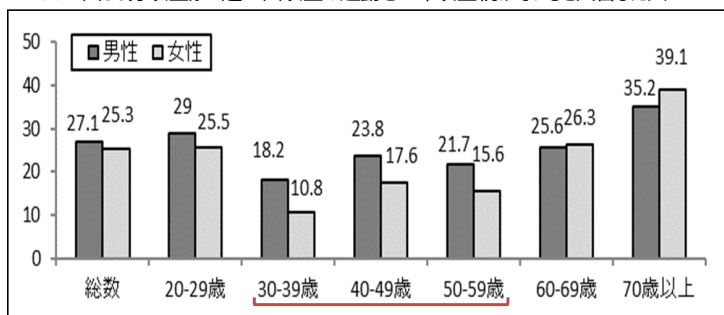
2

新潟県の健康に関する現状と課題

4 世代の生活習慣に係る健康指標 ※働く世代が他の世代に比べて低いもの

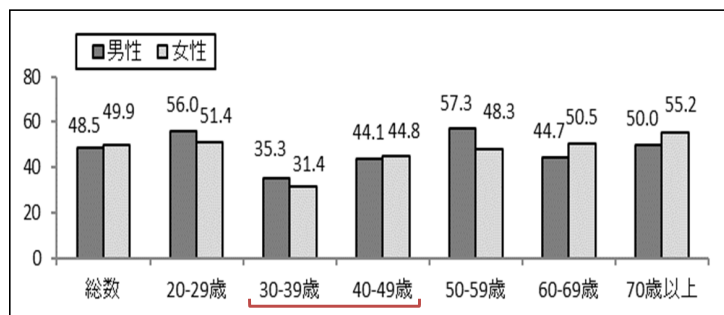
運動習慣のある人※の割合(性・年齢階級別)

※ 1回30分以上かつ週2回以上の運動を1年以上続けていると回答した人



資料：新潟県「令和4年県民健康・栄養実態調査報告」

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人割合(性・年齢階級別)



資料：新潟県「令和5年県民健康・栄養実態調査報告」

仕事や家事に忙しく健康づくりの時間がとれない「働く世代」は、他の世代と比べ、健康指標に課題が多い状況にあり、改善していく必要がある

こうした本県特有の課題を踏まえ、県民一人ひとりが自ら健康づくりを実践する必要性について啓発するとともに、健康づくりに取り組みやすい環境整備を一層推進していく必要がある

3

基本理念

住んでよし、訪れてよしの新潟県

将来像

安全に安心して暮らせる、暮らしやすい新潟

- 1 安全に安心して暮らせる新潟
- 2 県民すべてが生き生きと暮らせる新潟
- 3 誰もが社会参画できる新潟

地域医療の確保と健康立県の実現

①県民の健康づくりの推進

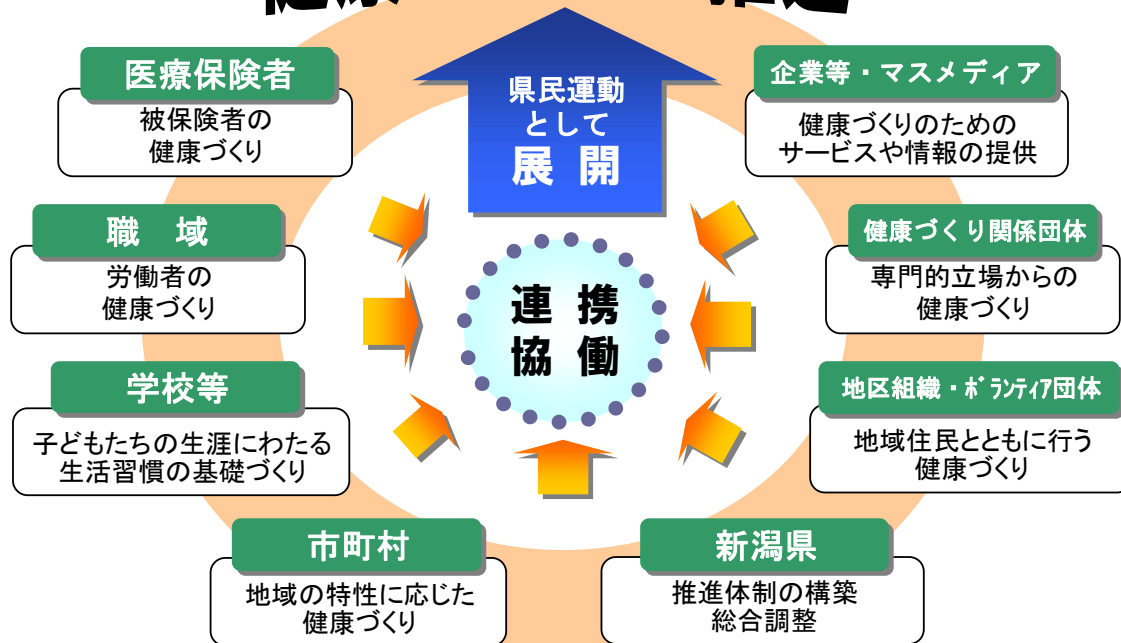
「市町村をはじめ、職域や健康づくり関係団体等と連携しつつ、「にいがた新世代ヘルスケア情報基盤」等を活用しながら、県民一人一人が生涯にわたって自らの健康状態に関心を持ち、健康づくりに取り組める環境を整備することにより、県民の健康寿命を延伸させ、すべての世代が生き生きと暮らせる「健康立県」を実現する。」

指標名	現状値	令和10年度 目標値	令和14年度 目標値
健康寿命の延伸 (平均寿命と健康寿命の差)	男性：8.83年 女性：11.68年 (令和4年)	平均寿命と健康 寿命の差の縮小 (令和10年－令和7年)	平均寿命と健康 寿命の差の縮小 (令和13年－令和10年)
がんによる75歳未満年齢 調整死亡率 (人口10万人対) (注3)	男性：83.6人 女性：54.6人 (令和5年)	男性：67.2人 女性：48.0人	男性：54.0人 女性：42.7人

健康立県の実現に向けた推進体制

県民の健康寿命が延伸し、すべての世代が
生き生きと暮らせる「健康立県」の実現

健康づくりを推進



健康立県プロモーション事業

～令和7年度の実施報告～

はじめよう、

けんこう
time

健康づくり県民運動 スローガン



ロゴマーク

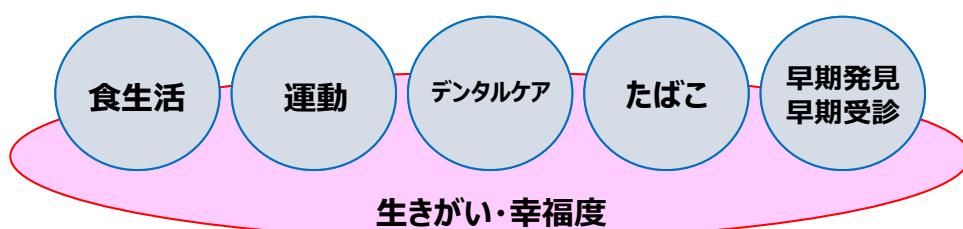
健康立県ヘルスプロモーションプロジェクト

はじめよう、
けんこう
time

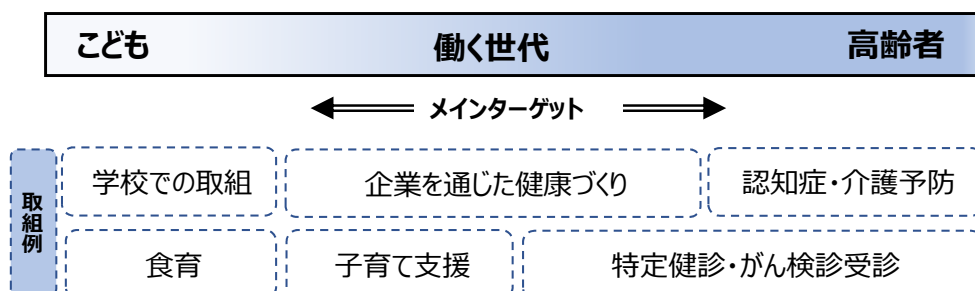


【基本理念】

県民の健康寿命が延伸し、
すべての世代が生き生きと暮らせる「健康立県」の実現



「生きがい・幸福度」を軸に、5つのテーマで健康づくりを展開



女性の健康支援、働く世代からの介護予防などの視点でも施策を展開

【スローガン】

はじめよう、
けんこう
time

- 健康について考えるきっかけとなるように考案

【ロゴマーク】



- 新潟県のカタチをモチーフに笑顔が県内に広がることを表現

推進団体 48 組織と新潟県による県民運動協働体

- ① 新潟県医師会
② 新潟県歯科医師会
③ 新潟県薬剤師会
④ 新潟県看護協会
⑤ 新潟県栄養士会
⑥ 新潟県社会福祉協議会
⑦ 新潟県国民健康保険団体連合会
⑧ 全国健康保険協会新潟支部

保健・医療・
福祉団体

- ⑨ 新潟県小学校長会
⑩ 新潟県中学校長会
⑪ 新潟県高等学校長協会
⑫ 新潟県小中学校PTA連合会
⑬ 新潟県高等学校PTA連合会
⑭ 新潟大学
⑮ 新潟県立大学
⑯ 新潟県立看護大学
⑰ 日本歯科大学（新潟生命歯学部）
⑱ 新潟薬科大学
⑲ 新潟青陵大学
⑳ 新潟医療福祉大学
㉑ 新潟リハビリテーション大学
㉒ 長岡崇徳大学

教育関係団体

健康づくり等
関係団体

- ㉓ 新潟県食生活改善推進委員協議会
㉔ 新潟県健康づくり財団
㉕ 新潟県スポーツ協会
（新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター）
㉖ 日本健康運動指導士会新潟県支部
㉗ 生命保険協会新潟県協会

経済団体

- ㉘ 新潟県商工会議所連合会
㉙ 新潟県商工会連合会
㉚ 新潟県中小企業団体中央会
㉛ 新潟県経済同友会
㉜ 日本労働組合総連合会新潟県連合会
㉝ 新潟県経営者協会

報道機関等

- ㉞ 日本放送協会新潟放送局
㉟ 株式会社テレビ新潟放送網
㊱ 株式会社新潟放送
㊲ 株式会社NST新潟総合テレビ
㊳ 株式会社新潟テレビ21
㊴ 株式会社エフエムラジオ新潟
㊵ 新潟日報社
㊶ 朝日新聞社新潟総局
㊷ 毎日新聞社新潟支局
㊸ 読売新聞社新潟支局
㊹ 産経新聞社新潟支局

行政機関

- ㊺ 新潟県市長会
㊻ 新潟県町村会
㊼ 新潟県労働局
㊽ 関東信越厚生局新潟事務所

【推進会議で協議・情報共有するテーマ】

- 1 県民運動の創出に関する事
- 2 県民の健康づくりの実践方策に関する事
- 3 構成員が代表する組織内における健康づくりの実践方策に関する事
- 4 健康づくりを効果的に推進するための普及啓発に関する事
- 5 その他、推進会議の目的を達成するために必要な活動に関する事

【R7会議での主なご意見】

- ・取組事例の横展開等の情報発信による健康経営の一層の推進
- ・女性の健康支援の一層の推進

8

健康立県プロモーション事業のこれまでの取組

R 1

- ・庁内及び関係団体との連携体制構築
- ・県民運動の仕組みづくり
- ・ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議の開催
- ・スローガン・ロゴマーク決定
- ・P Rキャラバン（県内12箇所）
- ・キャンペーン動画作成

R 2

- ・地域振興局と連携し全県での普及啓発
- ・各地域振興局での創意工夫した取組及び啓発
- ・健康立県公式Twitter開始
- ・YouTube動画配信によるPR
- ・からだがよくなるグッズ販売開始
- ・新型コロナウイルス感染症流行下の健康づくり対策
- ・健診受診控え対策の検討
- ・家庭でできる運動PR

R 3

R 4

- ・県民運動の推進体制強化
- ・健康立県にいがた推進強化期間（9～11月）を設定
- ・健康立県にいがたアンバサダー任命
- ・連携協定企業と連携した情報発信
- ・プレコンセプションケアなど新たな視点での取組（R5～）
- ・働く世代への取組強化
- ・にいがた健康経営推進企業登録促進、ランクアップ® 制度創設、フィードバックシート作成
- ・子育て世帯への普及啓発 → 子育て応援プラスの取組

R 5

- ① プロモーション
 - ② 健康経営の推進
- 2本柱で働く世代を中心に県民の行動変容を促進

R 6

R 7

新型コロナウイルス感染による受診控えなどの影響（取組が制限）

行動制限の緩和・解除

健康立県推進強化期間（9～11月）

松本 莉緒

▶ R6年度に続き健康立県にいがたメインアンバサダーに起用



その他にも、市町村、保健所、民間企業等によるPR、イベント等を実施



▲アルビレックス新潟ホームゲームでキックオフ前イベント



▲明治安田リーグウォーキングin新潟開会式



▲松本さん自身のSNSでの周知



▲ウェブ、SNS、紙など多様な媒体で発信

9

女性の健康支援・プレコンセプションケアに関する取組



▲にいがた健康経営推進企業表彰式
(女性の健康支援の取組を評価)



▲健康経営普及・啓発セミナー
(健康経営における女性の健康支援をテーマに講演)



▲女性の健康管理支援アプリ「ルナルナ」等を提供するエムティーアイと協定を締結し、ルナルナ有償プランを県民限定で2年間無償提供

連携協定企業と連携した普及啓発



▲日本生命保険相互会社
によるがん啓発プロジェクト



▲日本生命保険相互会社による
ち〜とばっか動効果の周知



▲大塚製薬による健康に
配慮した飲酒の周知



▲株式会社ロッテによるスーパー等での
よく噛むことの啓発POP掲示

R 7 年度 5 つのテーマ別の主な取組

《 テーマ 》

《 主な取組 》

食生活

- 県民が健康に配慮した食事ができる環境づくりの推進
- 「からだがよろこぶデリ」販売店舗数の増加 (令和 8 年 3 月 31 日現在 22 社 255 店舗)
- 「からだがよろこぶデリ」キャンペーンの実施 (令和 7 年 9 月 1 日～11 月 30 日)

運動

- ながら運動「ち〜とばっか動効果」の動画の活用推進
- 「にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業」のアプリ (グッピーヘルスケア) 利用登録者の拡大、市町村、民間企業、プロスポーツ団体と連携した利用促進
- 歩数イベントの開催

デンタル ケア

- 企業における歯みがきスペース環境整備等モデル事業の実施 (3 企業実施)
- おとなのデンタルヘルス推進事業
モデル事業の取組成果の普及、モデル校へのフォローアップ など
- 口腔機能維持向上のための40代からのオーラルフレイル予防促進事業

たばこ

- 5 月末からの禁煙週間における関係機関との周知啓発
- 新たな喫煙者を増やさないための若年層への働きかけ
専門学校でのワークショップ開催等

早期発見 早期受診

- 新型コロナの影響により低下した受診率向上の取組
連携協定企業による受診勧奨、新潟日報社主催がんイベントでの普及啓発
- 循環器病の主な原因である高血圧対策を目的とした産官学連携の取組
「にいがたSTOP高血圧プロジェクト」による血圧測定と早期受診の啓発



食生活

- ▶ 県内3か所のけんこうtime推進店で野菜摂取量測定イベントの開催



- ▶ おとなのデンタルヘルス推進事業による学校が自走可能な取組支援～新潟医療福祉カレッジ～



▲学校教員による生徒への歯科保健指導
(県はスライド作成等を支援)



▲院内掲示物作成授業の題材を「お口の健康」とし、生徒が作成(能動的学習)

デンタルケア

たばこ

- ▶ 新たな喫煙者を増やさないためのワークショップ～シェフパティシエ専門学校～



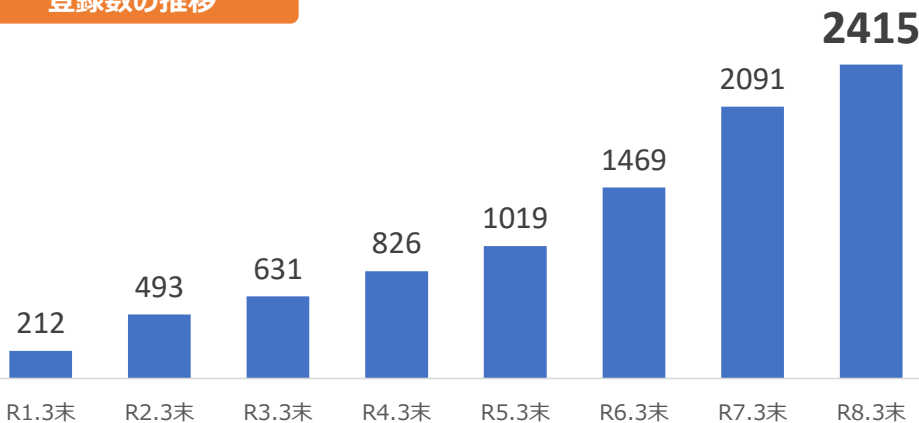
- ▶ 新潟日報社主催 がんイベント～あなたががんになる前に、なった後にできること～



早期発見 早期受診

健康経営の推進 (にいがた健康経営推進企業の登録状況の推移)

登録数の推移



登録時のインセンティブや連携協定企業から事業所への働きかけなどにより、新規登録数は増加し続けています

にいがた健康経営推進企業のメリット

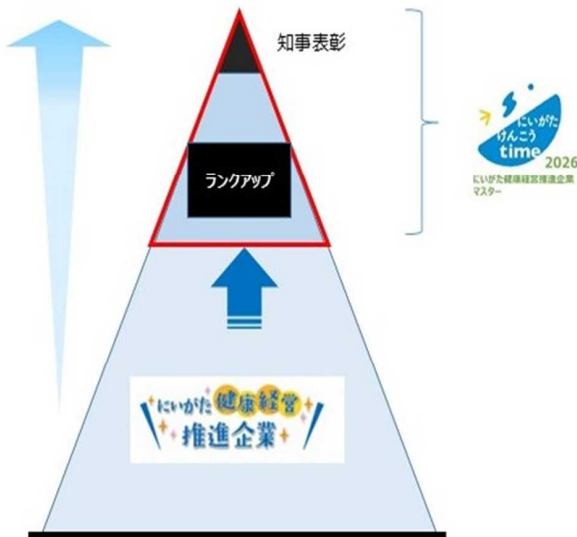
- 1 登録企業に登録証・記念品を交付します
- 2 優秀な取組を行う企業は県知事表彰を行います
- 3 ロゴマークを企業ホームページや名刺等に使用できます。
- 4 県のホームページや公式X等で企業PRできます
- 5 建設工事入札参加資格の加点対象となります
- 6 ハローワークの求人票に記載可能です
- 7 県が主催する就活イベントへの参加選考時の優遇があります
※県が主催する就職活動に関するイベントへの参加に当たり、企業の参加申し込み多数の場合、選考要件の1つとして加味されます。

規模別・業種別登録数

従業員数	登録数	業種	登録数	業種	登録数
1～49人	1711 (70.8%)	医療・福祉	184	建設	806
50～100人	304 (12.6%)	飲食・宿泊	34	製造	327
101～300人	291 (12.0%)	運輸	62	サービス	239
301～1000人	92 (3.8%)	卸・小売	434	情報発信	42
1001人～	17 (0.7%)	金融・保険	92	その他	195

健康経営の普及を更に促進するため、健康経営の取組をより積極的に行っている企業等を「にいがた健康経営推進企業マスター」として認定

※知事表彰は、マスター認定が応募条件になります



項目	詳細
期待する役割	自社の健康課題に応じた取組を実践することで、取組を深耕させ、エリアにおいて健康経営を広める。
認定基準	「にいがた健康経営推進企業」の中から、「取組状況報告書において優れた企業」として <u>優良な上位100社を上限として</u> 、「にいがた健康経営推進企業マスター」の冠を付加して認定します。 に 【認定方法】 ・期限内に取組状況報告書を提出していること ・「 <u>取組状況報告書における適合項目数</u> 」および、「健康経営の取組に関する記述内容（Q5）」を評価する ・ <u>にいがた健康経営推進企業マスターの認定を受けるには、Q5にも回答する必要がある</u> ・6分野すべて取り組んでいる場合において、優れた企業として評価する
認定期間	概ね1年間（認定日から翌年度3月末日まで）
メリット	・マスター認定となった企業が知事表彰への応募資格を得る ・ロゴマークをHPや名刺等で活用できる ・優れた取組は、県HP「健康経営フォーラム」や公式X等に取組を掲載される

本日、「にいがた健康経営推進企業」表彰式をこの後開催します ▶

14

新潟県庁でも健康経営を推進中

県庁における健康経営の意義

「健康立県」の実現を目指す新潟県庁として、県内企業の健康経営の推進にも寄与するため、知事の健康宣言の下、率先して健康経営に取り組みます

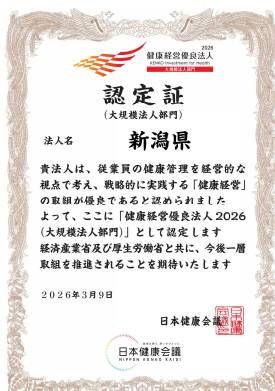


健康経営優良法人2026の取得

令和8年3月9日
「健康経営優良法人2026」の認定
（2年連続）

健康経営優良法人認定制度

特に優良な健康経営を実践している法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから社会的な評価を受けることができる環境整備を目的として、平成28年度に経済産業省が創設した制度（日本健康会議が認定）



健康県庁宣言

新潟県庁が「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現に向け、重要施策を着実に推進していくためには、県政の重要課題に的確に対応できる組織づくりに取り組むことが求められます。

新潟県庁の組織力を高める上では、職員が心身ともに健康で働きがいを持ち、能力を十分に発揮できる職場づくりが大切です。

そのためには、「職員の健康保持・増進の取組を、将来的に収益性等を高める投資である」とらえ、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践する」という健康経営の手法を自治体においても取り入れていくことが有効であり、新潟県庁全体で職員の健康づくりにしっかりと取り組んでいくことを通じて、職員のパフォーマンスの向上や組織の活性化、さらには人材の定着や採用力の向上といった経営課題への対応にもつながることが期待されます。

また、新潟県庁が率先して健康経営に取り組むことで、県内企業の健康経営の推進にも寄与するものと考えております。

新潟県庁のこうした取組が、より質の高い県民サービスの提供へとつながっていくよう、自らが新潟県庁の健康経営最高責任者となり、全庁を挙げて「健康経営」に取り組むことをここに宣言します。

令和6年10月
新潟県知事 花角 英世

健康立県にいがた推進事業 ～令和8年度の取組紹介～

はじめよう、
**けんこう
time**

健康づくり県民運動 スローガン



ロゴマーク

R8健康立県の取組の方向性

はじめよう、
**けんこう
time**



健康立県の実現のため、昨年度に引き続き、**プロモーション**と、**健康経営の推進**（にいがた健康経営推進企業の登録・取組促進）の2本柱で「**働く世代**」を中心に県民の行動変容を促進

① プロモーション

- 健康立県にいがた推進強化期間（9～11月）での、アンバサダーも活用した集中的な情報発信による「健康立県」の認知度向上
- 「**働く世代の健康づくりにいがた共創プロジェクト**」（運動習慣定着プロジェクト）での、主に働く世代の運動促進

② 健康経営の推進

- 「**働く世代の健康づくりにいがた共創プロジェクト**」（健康経営プロジェクト）での、主に中小事業所の健康経営の促進



こども・子育て支援	女性の健康支援・プレコンセプションケア	働く世代からの介護予防	EBPM（エビデンスに基づく政策立案）
◎子育て世代への「からだがよるこぶでり」の利用促進 ◎親子で運動をするイベントを通じた健康づくりの意識醸成 etc	◎思春期や妊娠前の女性のこころの健康相談（にいがた助産師そうだん） ◎にいがた健康経営推進企業での女性の健康支援の促進 etc	◎ちーとばっか動効果を活用したフレイル予防（講師派遣） ◎40代からのオラルフレイル予防 etc	◎新潟県ヘルスケア情報基盤を活用した介護リスク発生要因に関する研究（新潟大学） etc

隣接分野を所管する部局間連携、市町村・大学・関連団体、協定企業等とのコラボ

関係部局との連携（本庁・地域機関）



- （例）
- ・スニーカービズの推進
 - ・にいがたヘルス&スポーツマイレージのアプリ普及啓発
 - ・地産地消の推進
 - ・働きやすい職場環境づくり

市町村・関係機関と連携

- ・取組報告（例）市町村関連事業各種イベント
→県の取組と組み合わせたプロモーション
- ・テーマ別取組の発信

協定企業と連携した啓発

- ・県後援、健康立県ロゴマークやキャッチフレーズの活用
- ・推進強化期間を中心としたイベント等の開催要請
→プロモーションでの情報発信アンバサダーの活用

メディアを使った情報発信

- ・パブリシティの積極的な実施
- ・にいがたケンジュプロジェクト（BSN）、にいがた健康寿命日本一プロジェクト（新潟日報）と連携した情報発信



背景

- 健康寿命が全国トップクラスの「健康立県」の実現を目指し、令和元年度から県民運動として、食生活、運動などの5つのテーマで「健康立県ヘルスプロモーションプロジェクト」を展開しているが、健康寿命は前回からわずかに短縮、平均寿命との間には、依然として、約10年の差

現状・課題

- 「いがた健康経営推進企業」の登録数は、順調に増加（R8.3末：2,415事業所）する一方、登録数の増加により、6分野全てに取り組む企業の割合は低下傾向（R4:65.4%→R5:58.0%）
- 中小事業所の「健康経営自体知らない、自社の健康度や何をしたらよいかが分からない」との声
- 民間では、健康施策を推進する一般社団法人次世代健康文化創造機構が設立されるなど、健康経営推進の機運の高まり
- 健康寿命の延伸には、食習慣の改善や運動などが重要だが、特に運動分野の子育て・仕事が忙しい働く世代に向けた取組が課題

① 健康経営プロジェクト

（民間主導の健康経営推進のための取組支援補助金）

「取組紹介」
で紹介

（一社）次世代健康文化創造機構とその他関係団体がコンソーシアムを設立し、主に中小事業所に対して、健康経営の推進と取組の質の向上を効果的に促進

コンソーシアム設立（R8.10予定）

機構



その他関係団体
（保健・医療団体、健康
づくり団体、経済団体等）

- ・ 実態調査を踏まえた、中小事業所への健康経営の普及啓発（いがた健康経営推進企業登録に向けた働きかけ）
- ・ 評価・分析ツールを活用した伴走型支援
- ・ 健康経営の一元的な相談窓口・支援情報の提供
- ・ 企業対抗の歩数イベントの実施

健康寿命の延伸

企業の取組を通じた県民の健康づくりの促進

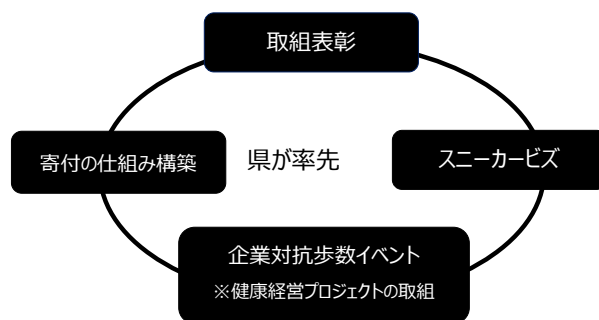
いがた健康経営推進企業
登録数増＋質の向上

企業
（従業員とその家族）

② 運動習慣定着プロジェクト

（企業における運動分野の取組促進事業）

企業の取組をアワード表彰で横展開を図りながら、いがたヘルス＆スポーツマイレージ事業の寄付の仕組み構築やスニーカービズの推進による歩きやすくなる環境整備を進め、企業における運動分野の取組を促進



【企業の課題解決や社会貢献など新たな視点】

18

運動習慣定着プロジェクト（あるこう県にいがたプロジェクト）

働く世代の運動促進に向けた企業における取組を促進するため、民間企業、団体等と連携・協働し、新たな視点（運動×社会貢献、運動×仕事 等）による取組を実施

あるこう県
にいがたPROJECT

① あるこう県にいがた（アプリ「グッピーヘルスケア」を活用した寄付（運動×社会貢献）の仕組み）



にいがたヘルス＆スポーツマイレージ事業の健康アプリ「グッピーヘルスケア」で運動や健康づくり活動で貯まったポイントを健康立県に寄与する取組を行う団体に寄付できる仕組みを構築することで、個人の運動のきっかけづくり、モチベーション維持や企業での運動の取組促進を目指します



アプリで貯まったポイントの使用方法について、地域協力店（約700店）で特典・サービスと交換できることに加え、応援したい団体への寄付（社会貢献）としてポイントを使用できる仕組みを追加（令和8年9月予定）

- 寄付対象団体について
 - ・ 10団体程度を想定
 - ・ 現在募集中（～令和8年8月12日）
- 寄付金の原資について
 - ・ 企業等の協賛金を活用
 - ・ 今後協賛の御依頼をさせていただきます（本事業受託者：新潟日報メディアネット）

詳細は特設サイトをご覧ください



19

働く世代の運動促進に向けた企業における取組を促進するため、
民間企業、団体等と連携・協働し、新たな視点
（運動×社会貢献、運動×仕事 等）による取組を実施

あるこう県 にいがたPROJECT

② スニーカービズの普及・推進

キックオフ
イベントを
実施

身体を動かしやすい環境整備の一環として、「スニーカービズ」（通勤、勤務中に歩きやすい靴の着用を促す取組）の普及啓発を図り、働く世代の運動機会や運動量の増加や、ながら運動の意識的な実施を促す

✓ 啓発チラシの作成、周知

運動による仕事の生産性向上の視点を取り入れた啓発チラシを有識者監修のもと作成するとともに、健康立県アンバサダー活用やSNS等により広く周知

✓ スニーカービズ推進法人の募集

「にいがた健康経営推進企業」を中心に、職場でスニーカービズに取り組む企業等を募集し、全県で推進（県庁も健康経営の取組として推進）

✓ 企業とのタイアップ企画の実施

SHOE PLAZA等運営の株式会社チヨダ様とタイアップ
（アプリ画面を見せると指定商品（スニーカー等）の割引を受けられる）



③ アワード（企業表彰）の実施

企業、団体等が実施する「働く世代」の運動習慣定着に資する取組のうち、特に優秀な事例を奨励するとともにその取組の横展開を図るため、表彰式を開催（令和9年3月予定）

令和8年度 テーマ別（運動以外）の取組

◀ テーマ ▶

◀ 方向性・主な取組 ▶

食生活

【県民が健康に配慮した食事ができる環境づくりの推進】

- スーパーマーケット等と連携して、県の基準を満たした健康に配慮した惣菜やお弁当を「からだがよろこぶデリ」として販売
- 健康立県にいがた推進強化期間（9～11月）に併せてキャンペーンを実施
- けんこうtime推進店で野菜摂取量測定イベントを実施



デンタル ケア

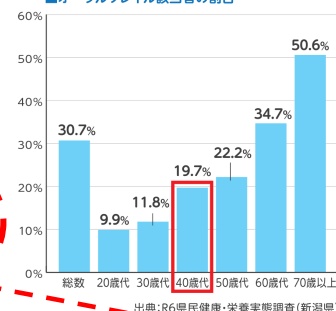
【働く世代等のデンタルケアの環境整備と意識の醸成】

- オーラルフレイル予防促進事業（継続）
比較的若い世代（40代～）も含めた普及啓発、市町村における取組の支援等により、オーラルフレイルの予防・改善を促進する。



新潟県民を対象にした調査では…

■オーラルフレイル該当者の割合



令和8年度 テーマ別（運動以外）の取組②

《 テーマ 》

《 方向性・主な取組 》

たばこ

【新たな喫煙者を増やさないための若年層(20歳頃)への効果的なプランの策定】

- 若年層の喫煙習慣化を防止し「新たな喫煙者」を増やさないためのワークショップを開催するとともに、これまでの取組を取りまとめた報告書を作成し、大学や専門学校、企業に向けた事例集として情報発信

【望まない喫煙（受動喫煙）の防止】

- 5月の世界禁煙デーに合わせ、市町村・保健所と連携した啓発を実施

早期発見 早期受診

【市町村や地元企業と連携した受診率向上への課題解決】

- がん検診に関する新聞広告やがんイベントを通じた普及啓発
- 市町村等と意見交換を行い、受診率向上に向けた好事例の共有等を行う

【循環器病予防に向けた高血圧対策】

- 大学や企業と連携し、地域における関係者のネットワーク作りを実施

こども・ 子育て 支援

- 子育て世帯向けに、「からだがよろこぶデリ」の活用のPRを強化することで、バランスのとれた食事や時間的ゆとりを応援

- 親子健康づくりコースの開催（夏・冬2回）

健康づくり・スポーツ医科学センター



22

令和8年度 テーマ別（運動以外）の取組③

《 テーマ 》

《 方向性・主な取組 》

女性の健康 プレコンセプショ ンケア

- 保健所において、中学・高校に出向き思春期と性の講演会の開催や、更年期の女性等を対象とした健康教育を実施
- 女性の健康週間（3月1日～8日）における情報発信
- にいがた健康経営推進企業における女性の健康支援の促進
- 子宮頸がん予防啓発リーフレットの配布（県内高校1年生）

働く世代から の介護予防

- ち〜とばっか動効果を活用したフレイル予防（企業等への講師派遣）
- 40代からのオーラルフレイル予防



EBPM

- にいがたヘルスケア情報基盤の医療ビックデータを活用した、健康寿命の終了を意味する介護発生リスクと生活習慣等の関連の分析・研究
⇒ 研究成果を県民のデータに基づくエビデンスとして普及啓発に活用

23

令和 8 年度 協定締結企業と連携した取組①

【協会けんぽ新潟支部】

- 健康立県にいがたの 5 つのテーマを踏まえた健康づくりポスターの展開
- けんぽ通信（納入告知書リーフレット）に県からの情報を掲載 etc



【株式会社新潟放送】

- にいがたケンジュプロジェクトでの健康づくりに関する情報発信
- ウォーキングイベントの実施 etc



BSN健康寿命延伸キャンペーン
にいがたケンジュ
プロジェクト

【株式会社ロッテ】

- 『よくかんで食べる』取組強化として、(株)ロッテと協働し、保育園等で実施可能な「噛むことの習慣化」と「口腔機能向上」を目指したプログラム（はじめての めざせ！ かむことマスター）を 7 市町で展開し、こどもの口腔機能の健全な育成を推進



令和 8 年度 協定締結企業と連携した取組②

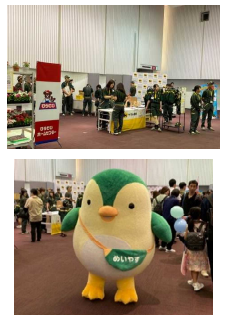
【大塚製薬】×ファミリーマート、セブン-イレブン

- ファミリーマート店頭サイネージ、セブン-イレブンアプリの TOP バナー広告による熱中症対策の啓発（R8.6.30～7.13） etc



【明治安田生命保険相互会社】

- にいがた健康経営推進企業登録に向けた事業所への働きかけ及び取組サポート（健康測定イベントの開催）
- こどもシゴト博の開催（からだがよろこぶデリの紹介）
- アルビレックス新潟と連携したウォーキングイベントの開催
- 循環器病啓発セミナーの開催（新潟STOP高血圧プロジェクトとの連携）



etc

【住友生命保険相互会社】

- にいがた健康経営推進企業登録に向けた事業所への働きかけ
- 住友生命が提供する健康アプリを活用したウォーキングイベントの開催 etc

【株式会社エヌ・エム・アイ】

- 薬局のデジタルサイネージで健康立県公式 X（旧Twitter）を周知 etc



健康づくりに関する情報を投稿しますので
フォローをお願いします！



健康立県にいがた公式 X（旧Twitter）



健康立県にいがた
@Niigata_kenko

https://x.com/Niigata_kenko

R8年度
開設

健康づくり支援課公式Instagram



にこtime【公式】
新潟県庁健康づくり支援課
@nicotime_niigata

https://www.instagram.com/nicotime_niigata/

新潟県 福祉保健部 健康づくり支援課